

『家康の仕掛け』目次

はじめに

2

日比谷入江があったころの
大名屋敷配置の推理

27

日本橋の入江と堀割整備

31

I-03 江戸初期の水利用のあり方

33

江戸で最初の上水、小石川上水

33

江戸城初期の姿を残す白鳥濠

37

慶長度天守閣を意識した日本橋川

38

家康が意識した、天守閣の「映える見せ方」

39

1章 初代将軍・徳川家康の時代

I-04 江戸の町割りを決めた家康のこだわり

43

I-01 家康が江戸に入る以前の江戸城

16

江戸城周辺の詳細地形と原風景の復原

16

太田道灌の江戸城

23

I-02 江戸のまちをつくる手掛かり

26

家康が見た江戸の原風景とは

26

現代に甦る江戸の町人地

54

京間60間のモジュールにこだわった武家地

51

舞台としての道空間を練り歩いた朝鮮通信使

47

混在させた家康の意図

45

都市軸とランドマーク

43

道幅に「丈」と「京間」を

45

2-03 海洋都市国家を夢見た家康

70

リーフデ号の漂着と天下分け目の時期

70

造船技術者ウィリアム・アダムスに着目した家康

72

太平洋を渡った使節団

75

家康はなぜ建造船を気前よく贈ったのか

78

9本の入堀の残像

80

2章 二代将軍秀忠をサポートする大御所家康の時代

2-01 家康の存在を示す西の丸

62

秀忠の兄弟関係について

62

江戸城本丸と、

それ以上の存在感を誇った西の丸

63

2-02 上水の確保と城の守り

64

飲料水確保のためにつくられた2つの溜池

64

大坂の陣に間に合わせた初期江戸城惣構

66

3章 家康亡き後、二代将軍秀忠の時代

3-01 キリシタンの脅威

86

キリシタン政策を大きく変えた家康の死

86

キリシタンの処刑を行った秀忠

87

3-02 秀忠の戦後処理と江戸城の強化 88

死して江戸を守る家康の東照宮

神田川の付け替え

江戸城西の守りとしての四谷大木戸

「よつや」の名は暗号か 98

3-03 秀忠の精神的な居場所づくり 101

秀忠による大名改易

忠輝はどうして改易されたのか 103

長生きした忠輝と若くして自害した息子徳松 104

3-04 秀忠の視覚的な居場所づくり 105

御門による江戸城の威厳づくり 105

平川御門と竹橋御門を合体した御門のあり方 108

4章 三代将軍 家光の時代

4-01 家光が将軍となるまで 114

春日局の捨て身の踏ん張り

家光の将軍へのプロセス 115

忠長はどうして切腹させられたのか 116

4-02 将軍家光と

大御所秀忠の共同事績 118

寛永寺の充実と元和度天守閣の建設 119

江戸城北側の上水確保 125

ビジュアル化された

丸の内と霞ヶ関の「格の違い」 128

4-03 将軍としての
独自性を見せる家光 132

日光東照宮の荘厳な社殿の大改築

寛永度天守閣の建設 134

規格外スケールの外濠 136

4-04 最後の事業となった
輪王寺本堂再建 140

家光の首を絞めた寛永の大飢饉と飢餓対策

なぜ最後が輪王寺本堂再建だったのか 141

5章 四代将軍 家綱の時代

5-01 家綱が生きた時代背景 146

家光と3人の息子たち 146

家綱を中枢で支えた重鎮 148

幕府機構の整備 150

5-02 玉川上水の役割と外濠の完成 152

明暦の大火 152

正之の玉川上水整備の決断 154

謎に包まれた玉川上水と外濠の関係 156

玉川上水の副産物 158

神田川の拡幅工事と河岸の成立 159

幕府の火事対策	164
家康の埋蔵金と火事により逼迫する幕府財政	166
5-04 天守閣を建てなかつた見返りは何か	168
台座の建設だけで終わった天守閣	168
キーパーソンとなる堀田正俊	169
活躍する河村瑞賢と干された稲葉正休	170
5-05 大名の御家騒動に見る	174
家綱と綱吉の違い	174
3つの大藩に見る騒動の違い	174
2人の家老の対立からはじまる越後騒動	175
4人の御世継ぎ候補	178
6-02 将軍綱吉を支えた2人のブレイン	189
老中から側用人の政治へ	189
大手町に賜った神田御殿	190
綱吉最初のブレインの牧野成貞	190
親子2代にわたって綱吉に仕えた柳沢家	192
綱吉のわがままを包み込む吉保の懐	194
6-03 綱吉の散財癖を支えた荻原重秀	196
佐渡金銀山の枯渇から経済政策へ	196
財政に長けた荻原重秀の重用	197
6-04 江戸に印された綱吉の威光	198
母に捧げる荘厳な護国寺	198
幕府財政の黒字化で挙行された	199
大嘗祭と荒廃した御陵の修復	199

家綱の時代に一件落着した越後騒動	180
越後騒動を蒸し返した黒幕	181
覆された判定の末に	182
綱吉に排除される堀田正俊	182

6章 五代将軍 綱吉の時代

6-01 綱吉と桂昌院	186
綱吉の性格	186
桂昌院はなぜ低い身分として語られるのか	187
桂昌院を江戸城三の丸に迎える綱吉	187
6-05 自然災害にはお手上げの綱吉	212
うつろい消える隆光と護持院	201
綱吉の肝いりで建立された湯島聖堂	202
母・桂昌院の一声でつくられた新大橋	205
天守閣と寛永寺本坊を結ぶ軸の明確化	207
連続する自然災害	212
災害に使われなかつた全国一律の税	214
将軍御世継ぎの行方	215
根津権現神社建立	216

7章

六代将軍
家宣の時代

7-03 家宣が完成させた2つの大庭園

吹上御庭の完成

最後まで残った将軍別邸・浜御殿

236 239

7-01 家宣が将軍になるまで

6代続いた将軍の足跡を締めくくる家宣

222

六代将軍家宣の生い立ち

224

将軍となった家宣

226

おわりに 6人の将軍の通信簿

244

7-02 新井白石のプロフィール

新井白石と土屋家宗家

228

堀田正俊、家宣に仕官した白石

231

新井白石 vs. 荻原重秀

232

天守閣再建計画と将軍ブレイン白石の終焉

234

ブックデザイン 米倉英弘(細山田デザイン事務所)